

vol. 1

スタッフエクスプレス

派遣、請負、短期紹介をワンパッケージで 派遣法改正後の業務管理システムを一新

▶人材ビジネス支援のエスアイ・システム社はこのほど、人材ビジネス向け業務管理システム「スタッフエクスプレス」を、一般派遣、特定派遣、紹介予定派遣、短期紹介、請負などあらゆる人材サービスに対応できるシステムとしてワンパッケージ化した。労働者派遣法改正後を見据え、打開策を検討している派遣会社向けに、低コストで汎用性の高いシステム提供をめざす。(熊澤理=編集部)

「スタッフエクスプレス」は、人材管理、仕事案件とのマッチング、勤怠管理、給与支払い・請求など、人材ビジネスの関連業務をワンストップ管理できるシステム。

森元潤治社長が、100社を超える派遣会社の業務フローをヒアリングして開発、07年に販売を開始した。今後、多様化する人材業界の業態を横断的に支援することで、法改正を控えたシステムのあり方を大幅に見直したのが、ワンパッケージ版をリリースするキッカケとなった。

今回、派遣、請負、短期紹介のワンパッケージ化に至った背景について、森元社長は「現在、市販されている同種のシステム

は、派遣、紹介など業態専用のものを購入しなければならず、コストも手間もかかる。法改正後に、人材会社側が企業のニーズに合わせてサービスを提供するには、派遣、請負、短期紹介をワンストップで完結するシステムが理想的と考えた」と語る。

今国会で改正派遣法が成立すれば、仕事がある時だけスタッフを派遣する登録型や、2カ月以内の日雇い派遣は原則禁止になる。登録型は3年（一部業務は5年）、日雇い派遣は6カ月の猶予期間が設けられるが、派遣会社はこの期間に禁止される分野の代替策を考えなければならない。

システム制御で法令順守

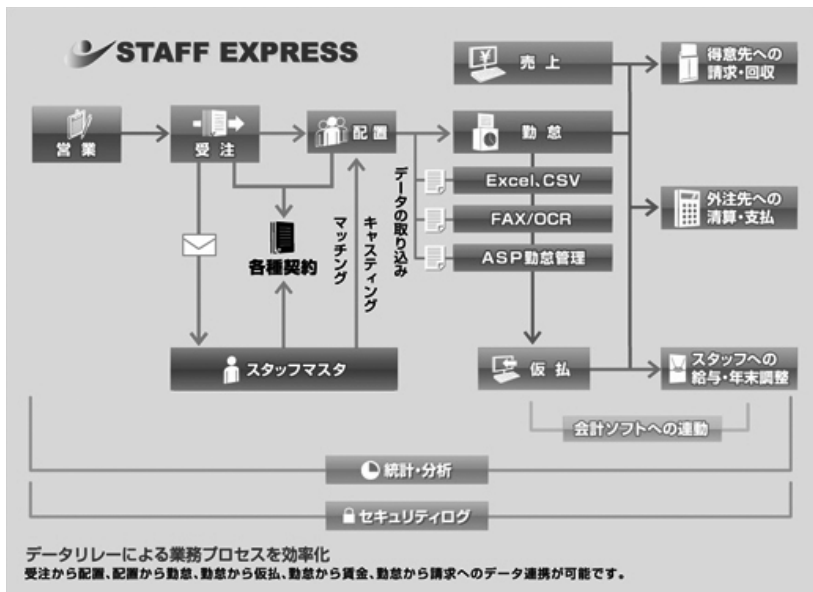
派遣法をはじめ労働基準法や職業安定法など、人材ビジネスを行ううえで必要な法律は網羅した。

派遣から請負、短期紹介などに切り換える際、コンプライアンス面は気になる部分

だが、労働局や関係団体への徹底したヒアリングを実施し、今回の機能に反映した。紹介を希望する求職者に対しては、派遣の案件をマッチングできないようにするシステム制御など、派遣と紹介を兼業する場合の注意点にも配慮した。

一方で、これまでの派遣スタッフやクライアントの登録データは、そのまま取り込

■スタッフエクスプレスのフローチャート



イチオシポイント

派遣、請負、短期紹介などあらゆる業態に対応可能

システム制御で徹底したコンプライアンスを実現



【エスアイ・システム】
場所：札幌市西区発寒12条2丁目9の8
社長：森元 潤治
URL：http://www.staffexpress.jp/

2005年3月に設立。事業内容は、人材ビジネス向け業務支援システム「スタッフエクスプレス」の開発、販売のほか、「エクスプレスシリーズ」として各種の業界向けのソリューションを提供。ソフトウェア開発、建設業向け、不動産業向け管理システムの開発やコンサルテーション、ウェブコンテンツ企画・制作など。

むことができ、システム移行時のストレスをほぼなくしている。

営業日報や見積もりなど営業の進展管理ができるSFA（セールス・フォース・オートメーション）としての機能も充実。営業活動をデータ化することで、派遣、請負、短期紹介のうち、自社の強みや強化すべき点を見つけることもできる。

LANPACKの価格は89万8000円から。会社ごとの業務の流れに沿ったカスタマイズも可能。派遣法以外の関係法令が改正された場合には、無償で新たなプログラムを提供するなど、導入後のフォローにも力を入れる。

森元社長は「派遣法が改正されても、短期の仕事がなくなるわけではない。企業からのニーズがある以上、人材ビジネス会社が生き残る手段は必ずある。チャンスととらえて、いち早く自社のビジネスモデルを確立できれば、競争を優位に進めることができる」と語る。

見やすい、簡単操作の管理画面

常用型派遣のほか、請負への切り換えや短期紹介などが代替策として挙げられているが、「スタッフエクスプレス」はこれらすべての業務フローに対応できる。

派遣、請負、短期紹介の管理画面をポータルひとつで切り換えられるなど、操作も簡略化。それぞれの業務に必要な項目が実際の流れに基づいた矢印付きの画面で表示される。

その矢印にしたがい、必要項目を入力すれば、コンプライアンスに則った形で派遣、請負、短期紹介の業務ができる。